

第2号様式の3

令和元年度第3回法務省総合評価委員会審議概要

開催日及び場所	令和2年2月14日(金) 15:15~16:30 法務省共用会議室4(大臣官房施設課旧入札室)			
委員	角田 茂 (大学参事) ※委員長 只木 誠 (大学教授) 遠藤 和義 (大学教授)			
審議対象期間	令和元年8月1日から令和元年11月30日まで			
【工事】		(備考)		
抽出対象案件	総件数 3件			
種類	技術提案評価型 S型		1件	
	施工能力評価型 I型		1件	
			施工能力評価型 II型(一般タイプ)	1件
	型		施工能力評価型 II型(小規模タイプ)	0件
【業務】		(備考)		
抽出対象案件	総件数 3件			
種類	標準型		0件	
	型		簡易型	3件
委員からの意見・質問, それに対する回答等	意見・質問	回答		
	別紙のとおり	別紙のとおり		
委員会による意見の具申又は勧告の内容	具申又は勧告	回答		
	なし	なし		

別 紙

意 見 ・ 質 問	回 答
<p>(議題) 総合評価落札方式の実施状況について 意見・質問なし。</p> <p>(議題) 抽出案件の審議 熊本刑務所庁舎収容棟等新営（建築）工事 [技術提案評価型S型]</p> <p>競争参加委員会において、総合評価審査会での技術提案評価が変更となっているが、変更が可能な根拠を伺いたい。</p> <p>熊本刑務所庁舎収容棟等新営（機械設備）工事 [施工能力評価型I型]</p> <p>配置予定技術者が2名以上申請された場合、総合評価において、加点が一番低い技術者を評価対象とすることは公告資料に明記されているか。</p> <p>総合評価項目における「高い」及び「より高い」同種性・類似性の設定に係る階数及び延床面積の設定方法を伺いたい。</p>	<p>「法務省建設工事に係る総合評価落札方式運用要領」において、総合評価審査会は競争参加資格等審査委員会の円滑な審議の実施に資するものとして設置されており、最終的な決定は競争参加資格等審査委員会で行なわれる。よって、競争参加資格等審査委員会において、総合評価審査会の評価が一部変更されることがある。</p> <p>入札公告の別添1「技術資料（総合評価）提出依頼書」に記載している。</p> <p>「法務省建設工事に係る総合評価落札方式運用要領」に準拠している。</p> <p>階数は、「高い」及び「より高い」のいずれも本件に係る主要建物と同等である。延べ面積は、高い同種性・類似性の場合に主要建物と同等としており、より高い同種性・類似性の場合では主要建物の延べ面積に一定の係数を乗じて同等以上としている。</p>

**令和元年度中央合同庁舎第6号館空調設備  
等改修工事 [施工能力評価型Ⅱ型]**

入札を辞退した企業が2者あるが、いつ、  
どのような形で辞退の申入れがあったのか。

競争参加資格要件において、冷房能力14  
kw以上のパッケージ型空調機を含む空調  
和設備工事の実績を求めているが、冷房能力  
のみにより設定しているのはなぜか。

**富山刑務所第3舎等耐震改修実施設計業務  
[簡易型（短縮）]**

入札価格について、他者に比べ非常に高  
い企業が1者あるが、耐震改修の設計は積算  
が難しいのか。

1者は入札前日の10月16日、もう1  
者は9月25日に辞退の申入れがあった。  
いずれも電子調達システム上での辞退申請  
であった。なお、当日の来庁にも対応でき  
るよう、入札室を確保している。

今回工事のパッケージ型空調機は、冷暖  
房機能を有するものであるが、その能力値  
は、冷房能力によって表示することが適切  
であることから、競争参加資格要件として  
定めている。

耐震改修の実実施設計業務であるからとい  
って、積算の難易度が上昇するとは考えに  
くい。

企業から提出された技術提案資料等に基  
づき推察すると、建替工事に係る設計業務  
と読み違えているのではないかと考えられ  
る。